

## 第6期自立支援協議会 地域共生部会活動報告

### 1. 部会開催状況

2018年度 10回 2019年度 11回 合計21回開催

### 2. 活動内容及びこれまでの成果

#### ①ニーズに対応するサービスの充足の方策検討

2018年度の活動の中で、市内各サービスの利用状況と実態把握を行うため、アンケートを実施。しかし、当部会で分析を行っていくことが困難であったため、2019年度に資源開発部会にアンケート結果を引き渡した。

#### ②福祉・介護等関係機関連携強化

○四国中央市介護支援専門員連絡協議会研修会にて講演

2018年9月14日（金）15：10～15：40 講演：『障がい者福祉について』

○『支援者研修会』の開催

⇒ 医療、福祉、介護、教育関係等市内の支援者に案内を行い、制度で途切れない支援の継続を目指し、人が繋ぐ支援体制を構築する。

①2018年9月25日（火）19時～21時 福祉会館4階 多目的ホール

内 容：話題提供)『連携』～つながっていくこと～

座談交流会)7項目のグループに分かれて顔が見える関係作りを目標に、実施。

参加者：102名（16グループ）

②2019年9月5日（木）19時～21時 福祉会館4階 多目的ホール

内 容：研修テーマ『誰もが生涯を安心して送るために、今考えること』

話題提供)『当市の課題、支援者の視点とは？』

座談交流会)6項目のグループに分かれて顔が見える関係作りを目標に、実施。

参加者：150名（17グループ）

#### ③住民理解促進

○住民参加を伴う研修会（あなたも支援者、わたしも支援者）の開催

2019年3月2日（土）10時～15時

開催場所：市民交流棟1、2階、消防防災センター、商工会館駐車場、1階会議室

内 容：ぼうさい学校～わたしの防災対策、わたしの町の防災対策～

来場者数：合計443名（一般来場者342名、関係スタッフ101名）受付調べ

○地域共生部会啓発活動 入り口は防災、そしてまちづくりへ『ぼうさい学校』の開催準備

2020年2月29日（土）10時～15時

開催場所：市民交流棟、防災センター、ひめぎん駐車場

※新型コロナウイルスの感染予防の観点から、中止。

### 3. 今後の課題

○地域共生を目指した、児童、福祉、教育、介護等の連携について

## 第6期自立支援協議会 特別設置部会活動報告

### 1. 部会開催状況

2018年度 7回開催

### 2. 他施設見学

2018年 8月 2日 (金)	社会福祉法人澄心	共同生活援助ばあゆ
2018年 10月 9日 (火)	社会福祉法人聖風会	障害者支援施設道前育成園
	同	障害者支援施設ていずい
	同	就労継続支援A型野菜工房
	同	同 カフェ風の杜

### 3. 討議内容

- 生活体験施設及びグループホーム（共同生活援助）については、仕組みや現況が解らないということで「ばあゆ」の見学をすることとなる。
- 現場支援員による太陽の家の今後を考える会が並行して開催されることとなる。
- 現施設の土砂災害危険地区指定などを考慮すると、まずは拠点施設の整備が急がれる。
- 生活施設なので、小規模、全個室、ユニット方式、小舎が望ましい。
- 定員規模は、40名が望ましく、公立と民間で分担する提案に賛成である。
- グループホームについては、既存のものを利用できないだろうか。
- 移築するにしても、地理的な場所が明示されないと、具体的には検討しにくい。
- 公立部分についてあえて言えば、改築が次の数十年は、更なる改築は不可能であろうから、先進地の研究をし、現時点で考えられる、最も良い設計にしていきたい。
- 意思決定支援については、報告書のスキームで良いが、それを担保する職員研修をしっかりと継続実施するシステムにしておくべきである。
- 人間の尊厳の改善と共生社会の実現を主軸とする。
- 誰でもいつでも立ち寄れる開放性、地域社会と一体となつての運営
- 市民の負託に応えられること、外部評価の義務付け
- 小規模な家庭的雰囲気の中で暮らせる住居
- 緊急一時保護、短期入所機能は必須
- 保護者会と職員の合同研修
- 生活住居と活動場所の適当な距離が必要、メリハリがある一日を過ごす
- 支援しやすい職員動線や避難経路を考慮した設計
- 静かな場所を選びたい人もいる
- 買物、バス停、体育館・プールなどの公共施設へのアクセスが良い立地
- 自動車通行量が少ない場所
- D庁舎敷地など

### 4. 跡地利用

- 跡地については、土曜・日曜・祝日・夕食後などに利用できる余暇支援の機能を備えたものを設置していただきたい。